



演題：遺伝子座特異的クロマチン免疫沈降法を用いた
ゲノム機能制御機構の解析

**Analysis of molecular mechanisms of genome functions
by locus-specific chromatin immunoprecipitation technologies**

演者・所属：藤井 穂高 先生

(Fujii Hodaka, MD, PhD.)

弘前大学大学院医学研究科ゲノム生化学講座

Hirosaki University Graduate School of Medicine

Department of Biochemistry and Genome Biology

日 時：令和 8 年 12 月 18 日（金）午後 4 時 30 分～午後 6 時 00 分

場 所：千葉県がんセンター事務研修棟 2 階大会議室

要 旨：

転写調節をはじめとするゲノム DNA が持っている機能の制御機構の解明には、解析対象ゲノム領域に結合している分子を同定することが必要である。我々は、結合分子が結合した状態で解析対象ゲノム領域を生化学的に単離し、結合分子を同定する手法として、遺伝子座特異的クロマチン免疫沈降法（遺伝子座特異的 ChIP 法）を開発した。本セミナーでは、遺伝子座特異的 ChIP 法の原理や応用例を紹介し、他の解析手法も含めた特定ゲノム領域の生化学的解析の現状について議論したい。